

## 11月19日 菊池たばこ販売協同組合 喫煙マナーの向上を目指して

菊池たばこ販売協同組合の組合員が七城支所や七城メロンドーム周辺でごみ拾いを行いました。同組合が清掃ボランティアの活動を通して地域に貢献したいと毎年行っています。菊池・旭志・泗水地域でも実施しています。



参加した組合員の皆さん。沿道に落ちているたばこの吸い殻や空き缶などを拾いました

## 11月20日 縁・結・絆プロジェクト 東北や能登に支援物資を届け続ける

堀江清次郎さん・昭子さん夫妻が、令和6年能登半島地震で被災した石川県を支援する復興応援活動の出発式を菊池保育園で開催しました。堀江さんは「園児からもらったパワーを石川の皆さんにも届けます」と話しました。



堀江さんは被災地支援を長年続けています。式では、チャリティーの綿あめ作り体験も行い、園児からは歌と横断幕が贈られました

## 11月23日 富出分区 万が一の災害に備えて

富出分区で防災訓練が行われました。住民らは放送を合図に「こすもす荘」へ徒歩で移動。実際の所要時間と経路を確認しました。到着後は消火や応急処置の訓練、車椅子介助の講習などがあり、実践的な訓練となりました。



古田浩士区長は「今は全国で災害が起きている。有事の際にしっかりと対応できるように練習しておきたいです」と話しました

## 11月13日 菊池女子高等学校 剣道部 国民スポーツ大会での優勝を報告

昨年9月に滋賀県で開催された第79回国民スポーツ大会「わたSHIGA 輝く国スポーツ」の剣道競技で、菊池女子高校3年の原碧海さんが、県代表の一員として出場し、見事優勝しました。大会では先鋒としてチームに大きく貢献しました。



原さんは、「今回の優勝で満足せず、次の大会でも結果を残せるように頑張ります」と笑顔で話しました

## 11月20日 人権擁護委員 長年の功績を称えて

人権擁護委員退任感謝状伝達式が行われました。令和7年10月1日をもって任期満了となった米村隆一郎さん(上出田)は、2期(6年)の長きにわたり人権擁護委員を務められ、その功績を称えて法務大臣から感謝状が贈呈されました。



米村さんは「これまでの経験をもとに、自分にできることをやっていきたいです」と話しました

## 11月23日 姫井区 架橋100年をみんなでお祝い

国登録有形文化財の「姫井橋」が令和7年で架橋100周年を迎え、住民約80人が祝いました。橋は、大正14年に架橋され、国内初の鉄筋コンクリート造り下路式アーチ橋という歴史的価値を持ち、現在でも住民に利用されています。



古田上部彦区長は、「たくさんの方が参加してくれてうれしいです。100周年、おめでとうございます」と話しました

## 11月11日 明治安田生命保険相互会社 市民の健康づくりに役立てて

明治安田生命保険相互会社の熊本支社が、市へ寄付金を贈呈。本市への寄付は令和2年から継続して行われており、市民の健康づくりや暮らしの充実に向け、地域ゆかりの社員による寄付金や同社拠出金を合わせて寄付されています。



梅野勝義支社長㊨と江頭実市長㊧。寄付金は市民の健康増進事業に活用する予定です

## 11月12日 市の発展に寄与 企業版ふるさと納税制度で市に寄付

総合設備事業会社の「飯塚電機工業㈱」(熊本市)が企業版ふるさと納税制度を通じて市に寄付されました。地方創生プロジェクトへ寄付をすると税控除が行われる仕組みで、寄付金は「子育て世帯移住支援事業」に活用します。



桃園茂副社長執行役員㊨と江頭実市長㊧

## 10月27日 株八方建設 子どもたちに本物の音楽を

10月28日に泗水ホールで開かれたジョルジュー・サンド・トリオによるスクールコンサートを開催するにあたり、運営費を寄付したとして、株八方建設に市から感謝状を贈呈。寄付金は主催団体「まちのたねラボさくち」に寄付されました。



感謝状を受け取る前川浩志代表取締役会長㊨。市内の中学1年生約400人に本物の音楽を届くことができました(詳細1月号27頁)

## 11月11日 ボランティアを行う建築の日 日ごろ手の届かない所まで丁寧に清掃

県建築協会に所属する皆さんが公園や広場などのトイレ清掃を実施しました。11月11日の「公共建築の日」に合わせて同協会では「ボランティアを行う建築の日」とし、ボランティア活動を行っています。



日頃の清掃では手の届かないような箇所まで清掃してもらい、トイレがきれいになりました。ありがとうございました

## 11月12日 菊池地区納税貯蓄組合連合会 税について、正しい知識と関心を

菊池地区納税貯蓄組合連合会が主催する作品表彰式が光の森市民センターキャロッピア(菊陽町)で開催されました。中学生作文の部・標語の部、小学生書道の部に菊池都市の小中学校から応募があり、本市からは12人が入賞しました。



この「税に関する作品」は児童・生徒の皆さんに、税の正しい知識と関心を高めてもらうことを目的として毎年開催されています